

愛ある記事で人を惹きつける 「しらおいナビ」、更新中！



大江 智子 (おおえ ともこ) さん

「しらおいナビ」運営者

北海道美幌町生まれ。看護師、社会福祉士、介護支援専門員の資格を持ち、これまで医療・介護の現場で働いてきました。異文化に身を置き、非日常の世界が日常に変わっていく瞬間をこよなく愛し、これまで訪れた国や地域は、25カ国になりました。日本国内は、和歌山県を除く46都道府県を制覇。そこでしかできない、よりローカルな体験が好きです。

2006年、たまたまご縁があつて白老町に移住。定住志向のない自分が故郷以外でこんなに長く暮らした地域は初めて。自然がいっぱいで、美味しいものがたくさんあつて、人が優しい白老。けっこう気に入っています。

北海道に移住（Iターン、Uターン）して、新たな取り組みを行う輝く人を紹介するインタビュー。お話を伺うのは、北海道各地を探訪し想いを形にする人との出会いをつなぐ、地域プロデューサーかとうけいこさん。8回目は、白老町に2019年5月にスタートしたブログ、「しらおいナビ」を運営している大江智子さんです。どこの地域や自治体でも必ずと言っていいほど課題として挙げられるのが「情報発信」です。大江さんが地域の編集部を買って出て継続することによって、地域が、住民が変わり始めています。

まちの情報を発信しようと思ったきっかけを教えてください

「正しい情報を地元から発信したい」と思ったのがきっかけです。知人が開業した店がある媒体に口コミされました。事実を知らずにその口コミを読むと、否定的に捉えられるかもしれない内容だったため、とても残念だと感じたのです。そのお店の情報発信を手始

めに、飲食・物産関係、子育てや野外活動などの記事を書いてきました。アップした情報は105件（2020年5月20日現在）に上りました。

また、老若男女、バックグラウンドも関係なく、誰にでも伝わる情報を目指しているため、英文を併記している記事もあります。白老に移住して15年目になり、白老の良さ、人の温かさに癒されている日々です。

閲覧件数は伸びていますか

おかげさまで、閲覧件数が毎月伸び続けています。開設当初は700件でしたが、今では月に1万8千件以上にもなりました。今年4月は、白老町内でマスクを取り扱っているお店を一覧化した記事やテイクアウトの一覧化記事、テイクアウトを行っている各店舗の記事がよく閲覧されています。その時々ニーズに合った記事を発信することが必要ですね。

白老町民だからこそ知っているディープな情報をと



運営している「しらおいナビ」のトップページとQRコード



ことん発信することがポリシーです。地元の人にとっては、新たな情報や再発見の場になってほしい。白老を訪れようと考えている方には、食や体験プログラムをはじめとした情報を、どうわかりやすく魅力的に伝えるかがカギだと考えています。

ボランティア活動とお聞きしましたが

ボランティアというよりは、好きでやっている個人ブログです。町の会計年度任用職員としてケアプラン作成の仕事に週3回携わっている傍ら、月に10本程度のブログ記事を作成しています。子育て中でもありますので、日程調整しながら仕事のない日はマイカーで町内を駆け巡っています。飲食や物品購入、ガソリン代など取材に掛かる費用は全て自分で賄っています。実際に自分の目で見て、きちんと話を聞いて、体験して、本音で記事を作成していくことで、よりリアルさを伝えていっています。

ブログは地域づくりに役立つかもしれないと考えています。ブログでの地域づくりには枠がありません。自分が得意とする「書くこと」「アイデア」「調整」、そして社会福祉士のこれまでの経験や視点を活かすこともできます。そして、お店の方にも、地元の方にも、これから白老を訪れようとする人にも喜ばれる、win-win-winのブログになることを目指して、これからも頑張りますよ～。

ブログを通して、活動の幅が広がっていると

2020年4月から白老観光協会と業務提携をし、ホームページ管理やコラボ記事の作成、SNS運用指導を行っています。また、2つのメディアにブログ記事を提供しています。

依頼を受けて記事を執筆することも増え、6月からは、苫小牧民報の「ゆのみ」にも記事を投稿していきます。新しいことにチャレンジしていく自分、今からとてもワクワクしています。

さらに、講師依頼もいただいています。ブログに関しては、自分にとってはまだまだ未知なる世界。正直自信はありませんが、この試行錯誤の経験こそが誰かの役に立つのかもしれない、と考えています。ブログを通していただいた初めての講師依頼は、私のふるさとの美幌町からのもので、非常に嬉しかったです。また、今年度は砂川市から、講演と実地研修を依頼されています。地域の情報を発信する地域プロガーとして、全国の地域プロガーとの情報交換も積極的に行っています。『白老』だけを見ていくのではなく、様々な情報を取入れながら、白老に必要なものを発信していくことが大切だと考えています。（2020年5月取材）

インタビュー後記

取材をして記事にするのは、大変な仕事です。でも同時に非常に楽しくてやりがいもあります。地域を愛する地元ライター＆編集者がいる白老は、幸せですね。かとう けいこ（株）まちづくり観光デザインセンター代表